

【参考資料 2】第 4 次越谷市障がい者計画進捗状況一覧 正誤表

第 2 章 保育・医療の充実								
4 障がい者保健・医療体制の充実								
頁	正誤	施 策	事業の内容	計画書本文	平成29年度の事業実施状況	担当課	平成29年度の事業実施状況に対する担当課の評価	
							平成29年度進捗状況	評価の理由
P6	【誤】	(3) 医療費の助成	2 自立支援医療の推進	精神障がい者の社会復帰のため、または身体の機能障がい除去、軽減するため、自立支援医療（精神通院、更生医療、育成医療）を推進し、医療費の負担軽減を図ります。	身体障がい者が負担する、その障害を除去・軽減するための治療に関する医療費を支給した。（更生医療受給者数：3 3 2 人）また、精神障がい者が負担する精神疾患に関する医療費（入院に関する医療費を除く）自立支援医療費（精神通院医療）を支給した。（受給者：4, 7 4 7 人） 【障害福祉課】 1 8 歳未満の子どもの身体の障害を除去・軽減するため、手術等の医療費（育成医療）1 9 9 件の自己負担額を軽減した。【子育て支援課】	障害福祉課 子育て支援課	B	身体障がい、精神障がい者の医療費を助成することにより、本人の経済的負担を軽減することができた。【障害福祉課】（B） 1 8 歳未満の身体の障害を除去するため、手術等医療費の自己負担額を助成することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。【子育て支援課】（B）
	【正】	(3) 医療費の助成	2 自立支援医療の推進	精神障がい者の社会復帰のため、または身体の機能障がい除去、軽減するため、自立支援医療（精神通院、更生医療、育成医療）を推進し、医療費の負担軽減を図ります。	身体障がい者が負担する、その障害を除去・軽減するための治療に関する医療費を支給した。 <u>（更生医療受給者数：3 4 2 人）</u> また、精神障がい者が負担する精神疾患に関する医療費（入院に関する医療費を除く）自立支援医療費（精神通院医療）を支給した。（受給者：4, 7 4 7 人） 【障害福祉課】 1 8 歳未満の子どもの身体の障害を除去・軽減するため、手術等の医療費（育成医療）1 9 9 件の自己負担額を軽減した。【子育て支援課】	障害福祉課 子育て支援課	B	身体障がい、精神障がい者の医療費を助成することにより、本人の経済的負担を軽減することができた。【障害福祉課】（B） 1 8 歳未満の身体の障害を除去するため、手術等医療費の自己負担額を助成することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。【子育て支援課】（B）

第 4 章 雇用・就業の確保								
2 多様な働き方の支援								
頁	正誤	施 策	事業の内容	計画書本文	平成29年度の事業実施状況	担当課	平成29年度の事業実施状況に対する担当課の評価	
							平成29年度進捗状況	評価の理由
P10	【誤】	(2) 働く場の充実	1 障害福祉サービス事業所等の充実	就労継続支援事業所、生活介護事業所、地域活動支援センターなどの障害福祉サービス事業所等が、障がい者の多様な働き方の拠点として、利用者の工賃収入の向上を図れるよう支援します。	平成 2 9 年度において、生活介護と共同生活援助（GH）は、共に 3 事業所の指定を行い、就労継続支援 B 型は、2 事業所の指定を行った。また、就労移行、居宅介護、重度訪問、自立訓練（生活）は、各 1 事業所の指定を行った。 【障害福祉課】	障害福祉課	B	障害者就労支援センターが企業訪問や職場訪問を行う際、雇用の場において差別的な取り扱いがないように啓発を行うなど、障がい者の人権の擁護に取り組んだことから B とした。 【障害福祉課】（B）
	【正】	(2) 働く場の充実	1 障害福祉サービス事業所等の充実	就労継続支援事業所、生活介護事業所、地域活動支援センターなどの障害福祉サービス事業所等が、障がい者の多様な働き方の拠点として、利用者の工賃収入の向上を図れるよう支援します。	<u>平成 2 9 年度において、就労継続支援 B 型は、2 事業所の指定を行い生活介護は、3 事業所の指定を行った。</u> 【障害福祉課】	障害福祉課	C	<u>就労に関する各事業所の指定実績があり、利用者が自身の障がいに応じた事業所を選択できる幅が拡大した。一方で、事業所の数だけではなく、工賃等も含めた質の向上にも努める必要があることから C とした。</u> 【障害福祉課】（C）

第 5 章 生活支援サービスの充実								
1 地域生活支援体制の整備								
頁	正誤	施 策	事業の内容	計画書本文	平成29年度の事業実施状況	担当課	平成29年度の事業実施状況に対する担当課の評価	
							平成29年度進捗状況	評価の理由
P11	【誤】	(1) 相談・情報提供体制の整備	1 相談窓口の充実	障がい者の多様な相談に適切に応じられるよう、相談関係機関の連携を強化し、総合的な相談支援体制の整備に努めるとともに、窓口相談の充実を図ります。 また、福祉なんでも相談窓口において、福祉全般に係る相談を受け、市民の利便性を高めます。	障害福祉課窓口、福祉なんでも相談窓口における対応により相談支援体制の充実、整備を図った。 ・障害福祉課相談件数 平成 2 9 年度： 件 ・福祉なんでも相談窓口の相談・支援件数 平成 2 9 年度：1, 1 9 4 件 （うち障がい福祉に関すること 1 4 0 件） 【障害福祉課】 福祉なんでも相談窓口の相談・支援件数 平成 2 9 年度：1, 1 9 4 件 （うち障がい福祉に関すること 1 4 0 件） 【生活福祉課】	障害福祉課 生活福祉課	B	福祉なんでも相談窓口での、福祉全般に係る相談と障害福祉の個別なサービス等との連携や、相談体制の整備が図られており B とした。【障害福祉課】（B） 福祉なんでも相談窓口における相談内容については、身体障がい、精神・知的障がい等にかかわるものが全体の 1 1 . 7 % にあたり、4 番目に多い相談項目となっている。前年度の 1 6 . 1 % より若干の減ではあるが、一定の成果は得られたと思われるため B とした。 【生活福祉課】（B）
	【正】	(1) 相談・情報提供体制の充実	1 相談窓口の充実	障がい者の多様な相談に適切に応じられるよう、相談関係機関の連携を強化し、総合的な相談支援体制の整備に努めるとともに、窓口相談の充実を図ります。 また、福祉なんでも相談窓口において、福祉全般に係る相談を受け、市民の利便性を高めます。	障害福祉課窓口、福祉なんでも相談窓口における対応により相談支援体制の充実、整備を図った。 ・ <u>障害福祉課相談件数</u> <u>平成 2 9 年度：5, 0 7 9 件</u> ・福祉なんでも相談窓口の相談・支援件数 平成 2 9 年度：1, 1 9 4 件 （うち障がい福祉に関すること 1 4 0 件） 【障害福祉課】 福祉なんでも相談窓口の相談・支援件数 平成 2 9 年度：1, 1 9 4 件 （うち障がい福祉に関すること 1 4 0 件） 【生活福祉課】	障害福祉課 生活福祉課	B	福祉なんでも相談窓口での、福祉全般に係る相談と障害福祉の個別なサービス等との連携や、相談体制の整備が図られており B とした。【障害福祉課】（B） 福祉なんでも相談窓口における相談内容については、身体障がい、精神・知的障がい等にかかわるものが全体の 1 1 . 7 % にあたり、4 番目に多い相談項目となっている。前年度の 1 6 . 1 % より若干の減ではあるが、一定の成果は得られたと思われるため B とした。 【生活福祉課】（B）

頁	正誤	施 策	事業の内容	計画書本文	平成29年度の事業実施状況	担当課	平成29年度の事業実施状況に対する担当課の評価	
							平成29年度進捗状況	評価の理由
P11	【誤】	(1) 相談・情報提供体制の整備	7 高次脳機能障がい者への相談支援の充実	埼玉県の高次脳機能障害者支援センター等との連携を図り、高次脳機能障がいのある方の相談支援の充実を図ります。	市ホームページ等で高次脳機能障害について普及啓発し、72件（委託相談支援事業所62件、他10件）の高次脳機能障害に関する相談支援を行った。【障害福祉課】 言語障害（失語症）等についての相談を行った。【市民健康課】 リーフレットの配布【精神保健支援室】	障害福祉課 保健所精神保健支援室 市民健康課 関連各課	B	平成29年度は言語障害等の相談はありましたが、高次脳機能障害を主とする相談はなかったため、Bとした。【市民健康課】（B） 前年度作成したリーフレットを必要時配布した。以上のことからBとした。【精神保健支援室】（B）
	【正】	(1) 相談・情報提供体制の充実	7 高次脳機能障がい者への相談支援の充実	埼玉県の高次脳機能障害者支援センター等との連携を図り、高次脳機能障がいのある方の相談支援の充実を図ります。	市ホームページ等で高次脳機能障害について普及啓発し、72件（委託相談支援事業所62件、他10件）の高次脳機能障害に関する相談支援を行った。【障害福祉課】 言語障害（失語症）等についての相談を行った。【市民健康課】 リーフレットの配布【精神保健支援室】	障害福祉課 保健所精神保健支援室 市民健康課 関連各課	B	住民の障がいに対する理解が進んでおらず、また、診断できる医療機関が少ないため、相談件数が増えていない。また、専門性の高い障害であるため、相談技術の向上が必要となるため、埼玉県高次脳機能障害者支援センターと連携を図る必要がある。【障害福祉課】（B） 平成29年度は言語障害等の相談はありましたが、高次脳機能障害を主とする相談はなかったため、Bとした。【市民健康課】（B） 前年度作成したリーフレットを必要時配布した。以上のことからBとした。【精神保健支援室】（B）
P12	【誤】	(2) 地域生活支援事業の充実	1 相談支援事業の充実	地域で生活する障がい者とその家族を支援し、障がい者の自立と社会参加を促進するため、障害者相談支援事業所の充実を図ります。また、計画相談支援や地域相談支援等を実施する指定相談支援事業所の整備を促進します。	各相談支援事業者等は、地域で生活する障がい者の相談等に積極的に関与し、障がい者とその家族を支援を行った。また、障がい者に身近な当事者によるピアカウンセリングを実施した。 越谷市障害者等相談支援事業を実施 相談件数 ・障害者生活支援センター苞 5, 327件 ・越谷地域生活支援センター有朋 3, 310件 ・生活支援センターこしがや 2, 550件 合計11, 187件 【障害福祉課】	障害福祉課	C	住民の障がいに対する理解が進んでいない。また、診断できる医療機関が少ないため、高次脳機能障がい者数は微増にとどまっており、相談件数が増えていない。高次脳機能障害の診断がされない場合は、認知症の診断を受け、デイケア等のリハビリや、障がい福祉サービス、介護保険の利用についての相談が増えている。 また、専門性の高い障害であるため、相談技術の向上が必要となるため、埼玉県高次脳機能障害者支援センターと連携を図る必要がある。【障害福祉課】（C）
	【正】	(2) 地域生活支援事業の充実	1 相談支援事業の充実	地域で生活する障がい者とその家族を支援し、障がい者の自立と社会参加を促進するため、障害者相談支援事業所の充実を図ります。また、計画相談支援や地域相談支援等を実施する指定相談支援事業所の整備を促進します。	各相談支援事業者等は、地域で生活する障がい者の相談等に積極的に関与し、障がい者とその家族を支援を行った。また、障がい者に身近な当事者によるピアカウンセリングを実施した。 越谷市障害者等相談支援事業を実施 相談件数 ・障害者生活支援センター苞 5, 327件 ・越谷地域生活支援センター有朋 3, 310件 ・生活支援センターこしがや 2, 550件 合計11, 187件 【障害福祉課】	障害福祉課	B	越谷市障害者等相談支援事業における相談件数は前年度より増加しており、各相談支援事業者は地域で生活する障がい者の相談等に積極的に関与し、障がい者とその家族を支援することができた。一方で、越谷市障害者等相談支援事業を行なう3事業所のうち全障がいに対応できるのは1事業所であり、近年相談件数が増加傾向にある中で利用者の利便性等に課題が生じていることからBとした。【障害福祉課】（B）

2 生活を支える福祉サービスの充実								
頁	正誤	施 策	事業の内容	計画書本文	平成29年度の事業実施状況	担当課	平成29年度の事業実施状況に対する担当課の評価	
							平成29年度進捗状況	評価の理由
P13	【誤】	(1) 訪問系サービスの充実	1 ホームヘルプサービスの充実	在宅で食事等の介護を必要とする障がい者に対し、サービス利用計画等により、在宅生活を維持するために必要となる適切なサービス量を支給します。 また、サービス事業者のサービス提供が適正なものになるよう支援します。	ホームヘルパー派遣時間 計150, 113時間 身体障がい者：116, 044時間 知的障がい者： 18, 816時間 精神障がい者： 15, 184時間 難病患者等： 69時間 【障害福祉課】 居宅介護（通院等介助含）利用時間：8, 228時間 【子育て支援課】	障害福祉課 子育て支援課 福祉指導監査課	B	ホームヘルパーの利用に係る費用について、介護給付費を支給することで、障がい者等の自立した在宅生活に寄与することができた【障害福祉課】（A） 障がい児の自立した生活を営むことができるよう支援するとともに、介助する家族の精神的、身体的な軽減を図られた。【子育て支援課】（B）
	【正】	(1) 訪問系サービスの充実	1 ホームヘルプサービスの充実	在宅で食事等の介護を必要とする障がい者に対し、サービス利用計画等により、在宅生活を維持するために必要となる適切なサービス量を支給します。 また、サービス事業者のサービス提供が適正なものになるよう支援します。	ホームヘルパー派遣時間 計150, 113時間 身体障がい者：115, 924時間 知的障がい者： 19, 022, 5時間 精神障がい者： 15, 097, 5時間 難病患者等： 69時間 【障害福祉課】 居宅介護（通院等介助含）利用時間：8, 228時間 【子育て支援課】	障害福祉課 子育て支援課 福祉指導監査課	B	ホームヘルパーの利用に係る費用について、介護給付費を支給することで、障がい者等の自立した在宅生活に寄与することができた【障害福祉課】（A） 障がい児の自立した生活を営むことができるよう支援するとともに、介助する家族の精神的、身体的な軽減を図られた。【子育て支援課】（B）
P14	【誤】	(4) 年金・手当等の情報提供の充実	2 各種資金貸付制度の利用促進	障がい者の自立を支援する社会福祉協議会の各種資金貸付制度の周知を行い、利用の促進に努めます。	必要に応じて、社会福祉協議会の各種資金貸付制度について周知を行った。【障害福祉課】	障害福祉課 子育て支援課	B	各種貸付資金制度について、市民ガイドブックや越谷市の障害者福祉ガイドを基に案内や制度説明を行い、個々の状況に応じた制度の周知を図ることができた。細やかな相談対応が行えるよう質の向上を図る必要がある。以上のことからBとした。【障害福祉課】（B）
	【正】	(4) 年金・手当等の情報提供の充実	2 各種資金貸付制度の利用促進	障がい者の自立を支援する社会福祉協議会の各種資金貸付制度の周知を行い、利用の促進に努めます。	必要に応じて、社会福祉協議会の各種資金貸付制度について周知を行った。【障害福祉課】	障害福祉課 子育て支援課	A	各種貸付資金制度について、市民ガイドブックや越谷市の障害者福祉ガイドを基に案内や制度説明を行い、個々の状況に応じた制度の周知を図ることができた。【障害福祉課】（A）

第6章 生活環境の整備充実								
3 外出・移動の充実								
頁	正誤	施策	事業の内容	計画書本文	平成29年度の事業実施状況	担当課	平成29年度の事業実施状況に対する担当課の評価	
							平成29年度進捗状況	評価の理由
P16	【誤】	(1) 外出・移動支援の充実	1 「ふれあい号」の利用促進	社会福祉協議会が行っている、歩行困難な身体障がい者や高齢者のためのリフト付きワゴン車「ふれあい号」の利用の促進を図ります。	越谷市社会福祉協議会において、市内在住で歩行困難な方に、リフト付ワゴン車等を貸し出した。 貸し出し件数 ふれあい号：110件 軽自動車：138件 【障害福祉課】	障害福祉課 社会福祉協議会	B	歩行困難な身体障がい者の方や、介護者の方の負担を軽減することができ、外出時等の支援になった。【障害福祉課】（B）
	【正】	(1) 外出・機会の充実	1 「ふれあい号」の利用促進	社会福祉協議会が行っている、歩行困難な身体障がい者や高齢者のためのリフト付きワゴン車「ふれあい号」の利用の促進を図ります。	越谷市社会福祉協議会において、市内在住で歩行困難な方に、リフト付ワゴン車等を貸し出した。 貸し出し件数 ふれあい号：110件 軽自動車：138件 【障害福祉課】	障害福祉課 社会福祉協議会	A	歩行困難な身体障がい者の方や、介護者の方の負担を軽減することができ、外出時等の支援になった。【 <u>障害福祉課</u> 】（A）
P16	【誤】	(1) 外出・移動支援の充実	2 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成券の交付	在宅重度障がい者の外出を支援するため、福祉タクシー利用券または自動車燃料費助成券を交付し、費用の一部を助成します。対象者に対する周知の徹底とともに、取扱い事業所の拡大をすすめることにより、制度の効果的、効率的な活用を推進します。	福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成券の交付 交付対象者数：6,031人 交付者数：5,541人 交付率：91.88% 利用率：64.76%（福祉タクシー利用券） 88.36%（自動車燃料費助成券）【障害福祉課】	障害福祉課	C	平成29年度の交付率は90%以上であり、制度の周知は概ね順調と考えられる。一方で、取扱事業所の拡大や、利用券の様式等について課題があるためCとした。【障害福祉課】（C）
	【正】	(1) 外出・機会の充実	2 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成券の交付	在宅重度障がい者の外出を支援するため、福祉タクシー利用券または自動車燃料費助成券を交付し、費用の一部を助成します。対象者に対する周知の徹底とともに、取扱い事業所の拡大をすすめることにより、制度の効果的、効率的な活用を推進します。	福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成券の交付 交付対象者数：6,031人 交付者数：5,541人 交付率：91.88% 利用率：64.76%（福祉タクシー利用券） 88.36%（自動車燃料費助成券）【障害福祉課】	障害福祉課	B	<u>平成29年度の交付率は90%以上であり、事業の実施状況や制度の周知は概ね順調と考えられる。しかし、取扱事業所の拡大等課題もあるためBとした。【障害福祉課】（B）</u>
P17	【誤】	(1) 外出・移動支援の充実	6 各種割引制度等の周知	障がい者の外出、積極的な社会参加を促進するため、交通機関の旅客運賃割引や有料道路の通行料金割引、駐車禁止の除外などの制度の周知を図ります。	障害者手帳の交付時に案内をする他、市民ガイドブック、市のウェブサイト及び障害者福祉ガイドに関係情報を掲載した。【障害福祉課】	障害福祉課 子育て支援課	B	バリアフリーマップを広く市民に配布することにより、障がい者や高齢者等が安心して外出できるための情報提供が図られた。一方で、バリアフリーマップ自体が平成26年度に作成されたものであることから、新たな情報を追加するなど情報更新も必要であるとの課題もあり、Bとした。【障害福祉課】（B）
	【正】	(1) 外出・機会の充実	6 各種割引制度等の周知	障がい者の外出、積極的な社会参加を促進するため、交通機関の旅客運賃割引や有料道路の通行料金割引、駐車禁止の除外などの制度の周知を図ります。	障害者手帳の交付時に案内をする他、市民ガイドブック、市のウェブサイト及び障害者福祉ガイドに関係情報を掲載した。【障害福祉課】	障害福祉課 子育て支援課	B	<u>制度の周知により、障がい者の外出、積極的な社会参加を促進することができた。【障害福祉課】（B）</u>